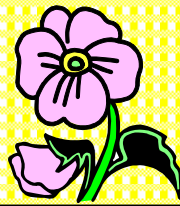




田んぼの草と花



5年1組 柏倉 彩加



タマガヤツリ

- みなさんは、タマガヤツリと言う雑草を知っていますか。タマガヤツリは、水田や水の浅い湿地、休耕田などに多くはえる。タマガヤツリは、成長すると葉の間から茎が多数出るんですよ。夏～秋にかけて茎の先に葉のような包葉2～3個つけ、中心から数本の径1cm内外の球形の花穂をつけます。



ペンペン草



- みなさんは、ペンペン草を知っていますか。ペンペン草とは、ナズナのことです。ペンペンというのは擬音ではなく実の形が三味線のハチに似ているからです。実がついた枝を取って振ると、実がぶつかりあって「シャラシャラ」という音がします。



キシウスズメノヒエ

- キシウスズメノヒエとは、湿地や水路などに多く生育するが最近暖地の水田に入りこんで強害草となっている。
- 成長期間は4～11月ごろまで。
- 夏の伸長中の茎は切断されても節があるとそこからでてる。



ホタルイ

- ホタルイは、日本全国の水田、沼沢地、ため池の湖岸などに生育する多年生の草本。朝鮮・中国・台湾・インド・インドネシアなどに広く分布します。
- 根元から多数の茎を出し、7月～10月にかけて花序を形成します。



終わりかな

- 最後によみがえった草花たちを紹介します。その草花は30年ぶりによみがえりました。まずは、ミスワラビを紹介します。ミスワラビは、水田に生える一年草です。シダ植物なので生育環境によって、葉の形は大きく変化します。

